

 今月のコラム

LED照明は園芸界も照らす



ハクサンインターナショナル（株）水野 隆

地球環境に配慮し、省エネ対策は今やどの産業に対しても待ったなしで求められる最重点課題です。政府も省エネ対策として自動車や家電に補助金をつける政策を打ち上げ、それなりに成果を上げているようです。

我々園芸に係る業界でも、施設園芸といわれる分野では、光熱費に関する省エネが大きな課題となっています。特に冬季の温室の暖房や照明には、重油や電気がかなり大きな割合を占めており、昨年は国の補助金政策により、従来からの重油暖房機から地中熱利用のヒートポンプへの代替が進みました。また、照明に関しては、花農家や野菜農家の補光として利用される「高圧ナトリウムランプ」の消費電力が大きいことから、最近ではLEDランプ化が推奨されるようになってきています。ただ、まだまだLEDの価格が高価なため、なかなか今の不況下にある農家では進んでいないのが現状です。

LEDといえば、家庭用のクリスマスイルミネーションで見受けられるように、中国製等の安い価格のものが殆どで、このことから、通常の家管用照明や農業用でも安く作れるのでは？と一般的には思われているかもしれませんが。家庭用の照明としては、最近では大手を始めとして多くの家電メーカーが、以前より安価なLED商品を発表し出しており、近いうちには一般庶民にも手の届く買いやすい価格になっていくことでしょう。

ところが植物用となると、ただ照度があればいいというものではありません。植物用としては基本的に「生育促進」、「品質安定」、「開花調整」等々の要素が重要になります。生育促進としては光合成の促進で、その為には光のコントロール、つまり最も光合成を促進する光の波長と光質が求められます。また、品質安定、例えば植物を徒長させないでしっかりしたものを作るには高輝度の青色の光が必要です。開花の調整には、何時間どのような光量を与えるかがポイントとなります。最近の研究では、このような基本要素以外にもLEDを光源にすることにより、多くの利点があると考えられるようになってきました。例えば、光の質よっての害虫忌避効果（農薬使用の抑制）、光合成促進による機能性成分向上の効果（野菜や果実に含まれるビタミン等の成分含有量の増加）、発芽や発根の促進、また、切り花の延命効果（切り花であっても、葉がある限り光合成をするので、花持ちが良くなる）、等々と様々な可能性を秘めています。

今、園芸業界でも長引く不況とデフレで非常に厳しい状況に陥っています。このような原因の一つには、園芸売場に足を運ばなくなった消費行動の変化も大きいものと捉えられています。つまり、人がいない所ではモノは売れない訳で、例えばショッピングモールのような、如何に大勢の人が集まる場所で売られるかが大きなポイントなのです。ところがこのような場所は植物にとって適した環境、特に光に対しては劣悪な環境といっても言い過ぎではありません。

年中人の集まる室内の場所で、植物に対してもより良い光環境を与えれば、植物の品質を保ち易くなり、それが購買へと繋がっていくことは想像できます。今後さらに安価になり、植物用のLEDライトが売場に整備されるようになれば、飛躍的に植物の品質がキープされ、多くの店舗にとって、扱いにくい商品から扱うことの出来る商品になっていくでしょう。



カエデ
kaede

フラワートライアル 2010秋

9月28～30日、蓼科バラクラで開催、参加者募集

当会では、昨年9月29日に長野・蓼科バラクライングリッシュガーデンにおいて第2回目のポタジェガーデンワークショップを開催しましたが、同時期28～30日に八ヶ岳麓においてフラワートライアルが開催され、29日夜には合同で業界人百数十人による情報交換会が盛大に開催されました。

2010年もフラワートライアルが9月28～30日に開催されることになり、募集を開始しましたが、当会も同時期、ワークショップを開催したバラクラ会場において、展示会を開催することになりました。

ただ今、募集要項作成中ですが、会員には1小間10万円以下での料金設定を検討中です。1月中には発表・募集開始できると思いますので、ご期待ください。

募集要項は、メールもしくはFAXにて「フラワートライアル募集要項」希望と事務局までご連絡ください。

Mail: npogarden@green-joho.jp

fax: 052-571-2208



昨年の会場

東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー

会期中のイベント出展(無料)募集中

4月17日～25日に国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン(東京都立川市)において、東京インターナショナルフラワー&ガーデンショーが開催される。主催は、東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー組織委員会(テレビ東京、日本経済新聞社、IMG、NPO ガーデンを考える会ほか14団体)

同ショーは、花と緑に関する作品や技術の国際的な水準の評価顕彰を図りながら、最新情報の発信と花と緑を愛する人々の交流を進めることにより、世界に誇るべき文化遺産の啓発とともに再び世界の人々から称賛される美しいまちや国が未来に開くことを願って開催される。

内容は、ショーガーデン(100㎡×4区画)、シティーガーデン(50㎡×10区画)、スモールガーデン(25㎡×20区画)、コンテナガーデン・ハンギングバスケット(各50作品)、資材、環境展示等商業出展、イベントステージならびに体験教室となっている。

イベントステージは、会期中、屋外ステージにおいて1小間40～60分、花緑に関するセミナー・トークショー・デモンストレーション・ファッションショーなど来場者が楽しめるもの。謝礼は1小間5万円。

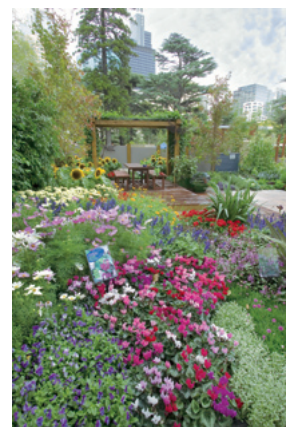
体験教室は、花みどり文化センターにおいて18～23日、フラワーアレンジメント、押し花、アロマセラピーなど、花緑に関する来場者参加型の体験教室で、来場者から参加料を徴収し実施することが出来る。参加料は運営者が管理する。

イベントステージ、体験教室を募集しており、希望者は下記まで。

TEL: 03-5766-7705 FAX: 03-5466-6688 担当: 井道(いどう)、赤羽(あかはね)、渡辺。

ホームページ: <http://www.tokyoflowershow.jp/>

前売り券を発売: 当日入場券2200円を前売券1800円で50枚1セットで販売します。
問合せ・申込みはガーデンを考える会事務局まで。





エコプロダクツ2009

一般レベルでも完全にエコ浸透

日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2009」が、12月10～12日、東京ビッグサイトで開催され、商談目的から、環境に関心の高い一般の人まで、昨年より1万人近く多い18万人余が来場した。

ガーデニング関連で特に目立ったのが「エコからくり生活」コーナー。ミミズコンポスト、ガーデンキッチン、太陽光発電、雨水タンクなどを、単体で使うだけでなく、それぞれを連動させたより効果的な使い方を、パーマカルチャーデザインなどで雑誌でも活躍中の四井真治氏が紹介。来場者から高い関心が寄せられた。

都市生活者にとって興味深いのが、(株)シナジーテックのLED植物工場。1本3万円ほどの植物育成LEDを使うことで、屋内でも葉菜類を水耕栽培することができる。今後オフィスやレストランでの需要も高そうだ。



シナジーテックのLED植物工場

サントリーミドリエが緑のインテリア「KOMiDORi」発売

サントリーミドリエ(株)(東京都港区)は、家庭で手軽に緑を楽しむ「ミドリエデザイン」の新シリーズとして「KOMiDORi (コミドリ)」3色セットを、オンラインショップで発売開始した。

コミドリは5cm角の立方体に専用倍土「パフカル」と植物が入った手のひらサイズのインテリアグリーン。フックとマグネットが付属しており、屋内のさまざまな場所で使うことができる。ミモザ・パール・カシスの3色。

▽オンラインショップ

<http://www.suntorymidorie.com/>



ミドリエデザイン「KOMiDORi (コミドリ)」

会員紹介

ソフト・シリカ株式会社は、珪酸塩白土を世に広めて今年で49年を迎えます。

この珪酸塩白土の正式名称は、「軟質多孔性高度珪化珪酸塩白土」で、2:1型モンモリロナイト粘土を指します。国内では、唯一秋田県八沢木地区でのみ産出される大変貴重な地質品で、「千の用途を持つ粘土」とも評され多機能で多目的に利用されています。

弊社では、園芸分野において「ミリオン(土壌改良材)」「ミリオンA(水質浄化材)」「ハイフレッシュ(植物活性材)」を商品化し販売しております。

食の安全・安心、温暖化による環境問題などに関心が高まる昨今、天然・自然の珪酸塩白土が少しでもこれらの解決の一助となるよう努めて参ります。

ソフト・シリカ株式会社

お問い合わせ

〒160-0004

東京都新宿区四谷2-1

TEL 03-3353-3651 FAX 03-3353-3188

URL <http://www.softsilica.com>



カエデ
kaede

コラム

“自分で見てみる、作ってみる、育ててみる”



株式会社タカショー 根田 武史

最近私がプライベートでも仕事でも特に意識している“自分で見てみる、作ってみる、育ててみる”をテーマにお話したいと思います。

最近家庭菜園がブームで弊社でもそれに関連した商品開発を進めておりますが、私の家にも田んぼや畑があり毎年米作りを中心に玉ねぎやその他の季節野菜を作っています。今までは、私が手伝うといっても“運ぶ”“洗う”などのほんのお手伝い程度でした。

しかし2年程前から祖父が動けなくなり父親と私が中心にするようになりました。(私は週末だけですが)今までは“運ぶ”“洗う”と「動く」要素が強い仕事でした。今は“まく”“植える”“耕す”“草刈をする”などと言った「働く」要素が少しずつ入った仕事に変わってきてます。「動く」から人が加わり「働く」に少しなりました。働くようになってからは、失敗もするし、すんなり上手くいくこともあります。考え方が変わったのが検証してみる、試してみることをし、次は絶対に成功してやろう、父親に注意されないようにしようと取り組んでおります。

これを仕事に置きかえてもどうしても忙しくなると机上で人の話だけや数字だけで判断して進めてしまいがちになります。よく3現主義と言われますが「自分の目で確かめ」「自分の耳で聴き」「自分の肌で感じ」「自分で考える」の重要性を農業をすることであらためて感じるようになりました。先月自分の家も建ちましたのでこれを機会に庭にガーデニングをし隣の畑で野菜を作って“自分で見てみる”“作ってみる”“育ててみる”を実践し、今後の商品開発やビジネスチャンスに生かせるようにお客様にも提案していければと思っております。



事務局だより

ガーデンを考える会
事務局 TEL052-571-7911
FAX052-571-2208

2010年が始まりました。

ガーデン業界も若い世代による新しい風が吹き始めていると感じ、10年後、あの頃が1つの節目だったと実感できるものと思っています。今年は新しい風を受けながら、進んでいきたいと思っていますので、よろしく願います。